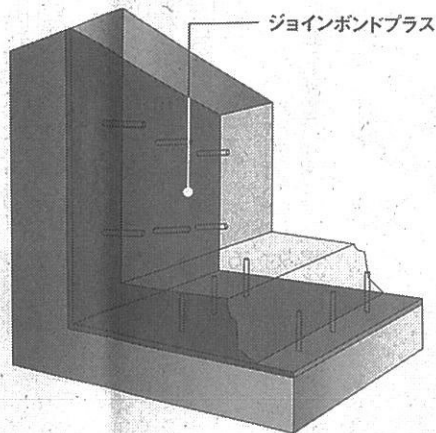


優れた機能で幅広いシーンに対応する

『ジョインボンドプラス』が話題！

JERコンクリート補改修協会



ジョインボンドプラスを用いた施工断面図

である。

同製品の最大の特長は飛躍的に使い勝手を向上したこと。このため、①護岸（防潮堤・防波堤・河川堤防）、水路、ダム、発電所、工場などの増打、嵩上げ②橋梁、上下水道施設（配水池）、各種施設の耐震補強における増打、嵩上げ③橋梁床版における舗装コンクリートの新旧接着——など幅広いシーンで活躍している。

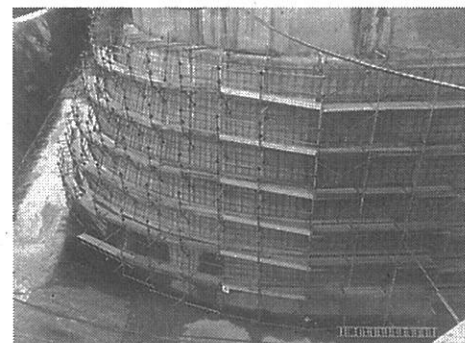
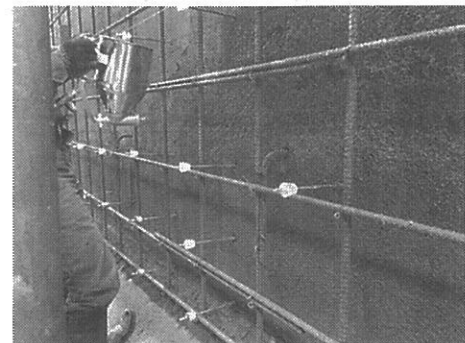
までの期間を1〜14日な特長。チッピングを不要とすることで大幅な省力化を実現。また、セメント製造時および現場作業で発生するCO₂排出量も、チッピング工法と比べて約60%、ウォータージェット（超高圧水処理工）と比べて約40%低減するなどカーボンニュートラルの実現に貢献する。施工性もコテ塗りおよび吹付け作業性に優れ、特に吹付けの場合は鉄（鋼）との接着性に優れるため、鉄筋を障害とせずに施工できるなど極めて良好。作業時間を大幅に短縮できる。

こうした優れた機能により、ジョインボントM5000に比べ、より確実かつ計画的に新コンクリートの打設を実現。理想的な接着材となっている。

旧コンクリート表面が高圧水処理（10〜30MPa）程度でもチッピング振動を与えず、打継目の水密性を確保する。

<https://www.jer.jp>

JERコンクリート補改修協会（兵庫県神戸市西区南別府一―四―六・日本ジッコウ内、☎〇七八―九七七―〇七〇）は、十月三十日・三十一日にインテックス大阪で開催された「建設技術展」に、繊維補強ポリマーセメント系新旧コンクリート打継目接着材「ジョインボンドプラス」などを出展し、好評を博した。



ジョインボンドプラスの塗布状況①と打設状況②